

重点12 保護者・地域との協働の推進 2 学校運営協議会

ねらい

地域住民が一定の権限と責任を持って学校運営に参加する学校のあり方について調査研究し、地域、保護者と学校が一体となった新しい学校運営や効果的な教育活動の実現を図るため、「コミュニティスクール調査研究事業」を実施しています。

現 状

- 平成19年度モデル校（2年次） 中部西小学校 八郷小学校 中部中学校
- コミュニティスクール調査研究に係る取組

	教育委員会	中部西小学校	八郷小学校	中部中学校
4月			○第1回学校運営協議会 ・委員委嘱状交付式 ・今年度の活動の協議等 ○図書館ボランティア打合せ	
5月		○第1回学校参画委員会 ・委員委嘱状交付式 ・学校づくりビジョンの協議等 ○学校公開(参加参画型授業)	○安全部会総会 ○学校家庭協働部会	○第1回学校運営協議会 ・委員委嘱状交付式 ・学校づくりビジョンの協議等
6月			○第2回学校運営協議会 ・学校づくりビジョンの協議等 ○環境整備作業	○学校見学会・部活動参観
7月	○地域教育フォーラム・イン京都 視察(1名)	○第2回学校参画委員会 ・参加参画型授業の様子 ・具体的な取組の検討等 ○地域教育フォーラム・イン京都 視察(4名)	○地域教育フォーラム・イン京都 視察(5名)	○第2回学校運営協議会 ・1学期の取組の協議等 ○地域教育フォーラム・イン京都 視察(13名)
8月	○コミュニティ・スクール 推進フォーラム視察(1名)	○コミュニティ・スクール 推進フォーラム視察(6名) ○夏休み体験教室 ○第3回学校参画委員会 ・取組の進捗状況等	○コミュニティ・スクール 推進フォーラム視察(2名) ○夏休み親子活動	○コミュニティ・スクール 推進フォーラム視察(2名)
9月			○第3回学校運営協議会 ・1学期の取組の協議 ・教職員との意見交換等	○体育祭参観 ○第3回学校運営協議会 ・学校自己評価の内容検討等
10月	○第1回回学校長連絡会		○図書館まつり	
11月	○習志野市秋津小視察(1名) ○地域教育フォーラム打合せ (名城大学:2名)	○学校公開(参加参画型授業) ○第4回学校参画委員会 ・参加参画型授業の様子 ・今年度の活動の中間報告等	○第4回学校運営協議会 ・今年度の活動の中間報告等 ○学校家庭協働部会 ○環境整備作業	○文化祭参観 ○学校見学会・部活動参観 ○人権・道徳授業研究会参観
12月	○地域教育フォーラム 学校長打合せ		○環境整備作業	○地域スペシャリスト授業参観 ○「早ね、早おき、朝ごはん」 講演会参観
1月	○地域教育フォーラム パネルディスカッション 打合せ	○第5回学校参画委員会 ・学校関係者評価 ・今年度の取組と来年度の方向性 ○教育ビジョン検討会	○啓発パンフレット配布	○第4回学校運営協議会 ・学校関係者評価
2月	○四日市市地域教育 フォーラム開催	○四日市市地域教育フォーラム参加 ○和室の活用 ○習志野市秋津小 視察(2名)	○四日市市地域教育フォーラム参加 ○第5回学校運営協議会 ・学校関係者評価 ○クラブ活動交流会 ○学校家庭協働部会	○四日市市地域教育フォーラム参加
3月	○第2回回学校長連絡会	○第6回学校参画委員会 ・今年度の成果と課題 ・次年度への展望等	○第6回学校運営協議会 ・今年度の成果と課題 ・次年度への展望等 ○環境整備作業	○第5回学校運営協議会 ・今年度の成果と課題 ・次年度の活動方針等

※ 教育委員会からは、各校の学校運営協議会にオブザーバーとして出席しています。

## 第4章 教育活動を支えるもの

### ○ 四日市市地域教育フォーラムの開催

- (1) テーマ 「つくろう学校の応援団」～地域に開かれた新しい学校づくりのすすめ方～
- (2) 日時 平成20年2月17日(日) 9:20～11:50
- (3) 会場 四日市市総合会館8F 視聴覚室
- (4) 参加人数 174名
- (5) 主な内容

- ・本市の目指す「地域に開かれた学校づくり」について
- ・コミュニティスクール調査研究校の取組概要の紹介
- ・パネルディスカッション  
(各学校運営協議会委員長・委員及び担当教員)
- ・講演「地域と学校の協働態勢づくり」  
～小中連携と地域協働・保護者参画～  
名城大学大学院 大学・学校づくり研究科 木岡一明 教授



- ・ パネルディスカッションでは、「地域の学校へのかかわり方」や「学校と地域が連携することのよさ」について、意見交換がなされました。
- ・ 講演では、「地域社会の変貌と子どもの抱える課題」「学校を取り巻く状況の変化」等、現状の課題の解説から、「学校が地域協働をすすめることの意義やその必要性」等について教授していただきました。

### ○ モデル校の成果

#### 「学校と地域・保護者の連携のあり方」に関して

- ・ 学校参画委員会からの提言に対して、学校がすばやく対応してきたことで、委員の意識が高まった。また、学校・地域・PTAが役割分担して、実現に向けて取り組むシステムができた。
- ・ 学校運営協議会に学校の各部会の担当教職員が入ることで、委員が教育活動を深く把握することが可能になった。また、委員の提言を学校の各部会で検討できるようになり、スムーズに教育活動に反映することができた。
- ・ 学校だよりや学校ホームページを活用して、地域への情報発信を積極的に行うことで、保護者・地域の学校に対する信頼を高めることができた。
- ・ 人権教育の校内研修会等を委員が参観することにより、授業内容や生徒の様子を委員から地域へ発信することができた。
- ・ ふれあいパトロール、環境整備作業等の取組により、子どもと地域の方々とのかかわりが深まった。

#### 「学校独自のカリキュラムの創造」に関して

- ・ 参加参画型授業の基本的な考え方が明確になり、地域・保護者と一しょに子どもを育てる授業づくりに取り組む素地ができた。

#### 「地域・保護者の参画する学校運営のあり方」に関して

- ・ 学校の教育活動を地域・保護者とともに高める体制が整い、地域・保護者が積極的に学校にかかわる場ができた。子どもたちの安全を見守る体制づくりが進んだ。
- ・ 委員を通して地域・保護者からの意見を受け、学校運営の改善に取り組むことができた。
- ・ 学校の自己評価に基づいた学校関係者評価の実施により、次年度の改善点の明確化が図れた。

## 課題 (今後の方向)

- 学校と地域・保護者との連携のあり方や運営協議会の権限、教育委員会との関係等についてさらに調査研究を進め、運営協議会に係る規則を整備していきます。
- 本年度は、運営協議会委員の先進地への研修視察を行うことができました。今後も運営協議会委員の研修を行うとともに、学校関係者・市民への啓発活動を進めていきます。
- 次年度から全小中学校に設置する「学校づくり協力者会議」では、モデル校の実践を参考とし、各学校の実態や地域の特性に応じて学校・保護者・地域が連携協力する仕組みづくりを進めていきます。